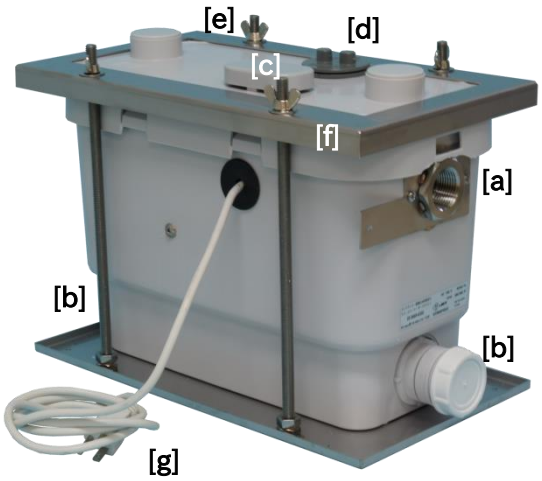
雑排 N　施工説明書

本書は設置施工後、お客様へお渡しください。

1.各部名称



[a] 吐出管接続口　（25A・内ねじ）
[b] 雑排水管接続口（40A）キャップにて閉止
[c] 通気管接続口　（20A）
[d] 点検口（試運転時注水口）
[e] 蓋開閉用蝶ナット 4 個
[f] 蓋開閉用フランジ枠
[g] 電源コード（2 極接地極付差込プラグ）

2.付属品

[h]

[i]

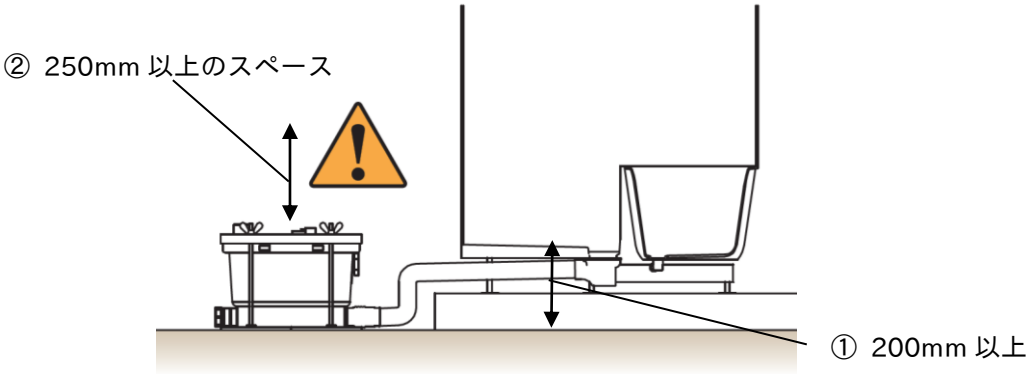
[h] フレキゴムジョイント 40 × 2 個
[i] ホースバンド 40-60　　× 4 個
取扱説明書/保証書/施工説明書（本書）

3.配管施工例

4.本体の設置

①排水器具を設置する高さは、本製品の設置レベルから、排水器具の排水芯で＋150mm 以上、および、排水器具のあふれ縁で＋200mm 以上を確保してください。

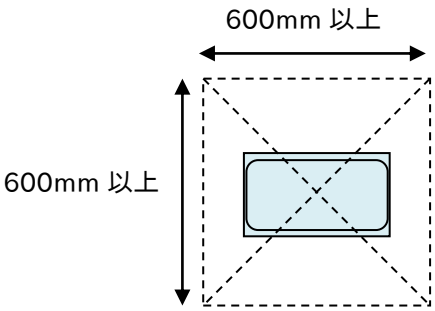
②ポンプユニット上部には 250mm 以上のメンテスペースを確保してください。



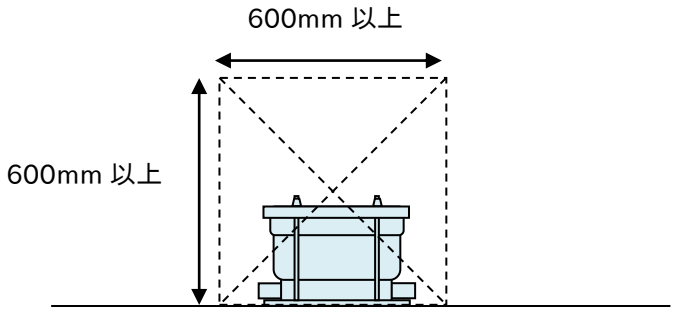
③ポンプユニットは水平に設置し、必要に応じて本体トレーをビス等で固定してください。

④ポンプユニットを隠蔽する場合は**メンテナンススペースを確保し、必ず点検口を設けてください**。
点検口の寸法は下図を参考にしてください。

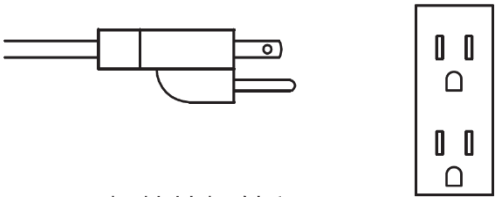
■床下に隠蔽する場合（600mm 角以上）



■壁内に隠蔽する場合（H600mm×W600mm 以上）



⑤電源プラグは 2 極接地極付差し込みプラグです。専用回路にて接地極付コンセントを用意してください。



5.吐出管の配管方法

吐出管接続口[a]は内ねじ(R1)です。25A のおねじ継手を接続してください。

吐出管にはボールバルブまたはスリースバルブを必ず取り付けて下さい。

（試運転調整やメンテナンス時などに必要となります。）

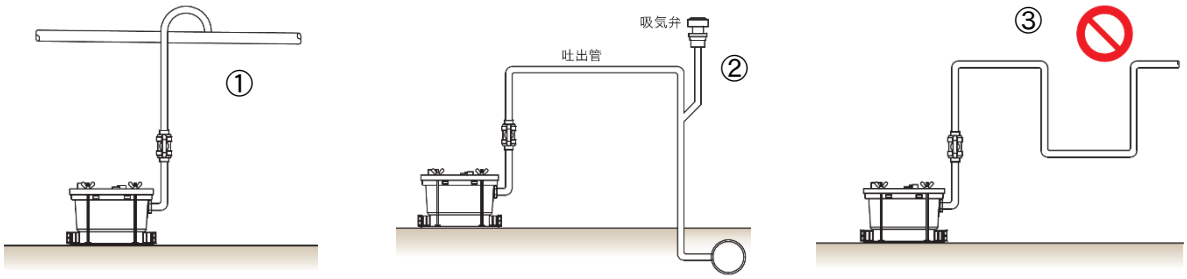
逆止弁はユニットに内蔵されているため、吐出管への取り付けは不要です。

ご注意！

①横引き管に接続する際は上部より接続してください。

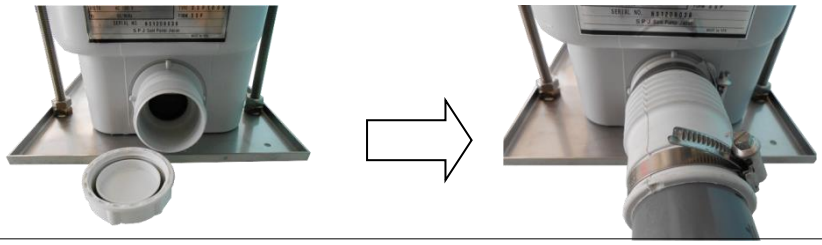
②吐出管を設置レベルより下げる場合はサイフォン現象を防ぐために適切な場所に吸気弁を設けてください。

③吐出管は鳥居配管にならないように施工してください。



6.雑排水管の配管方法

雑排水管接続口[b]のキャップを外し、フレキゴムジョイント 40 のツマミがある側を根元まで差し込み、VP40A を差し込み、ホースバンド 40-60 で締め付けてください。



ご注意！

器具からポンプユニットまでの配管は適切な勾配（管径 65A 以下　1/50 以上）で配管してください。

7.通気管の配管方法

通気管接続口[c]のキャップを外し、VP20A を接続します。本体材質は PP のため塩ビのりでは接着できませんので、P シール・コーキング剤などでシールしてください。

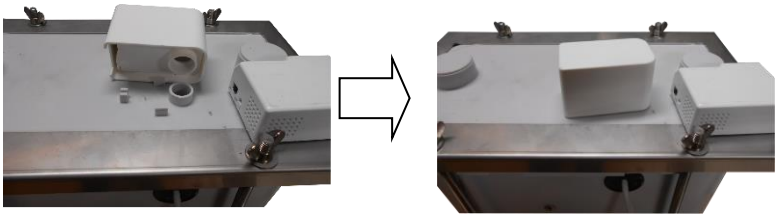
通気管は外気開放としてください。通気管の施工が困難な場合は**キャニスタ S**（脱臭器）をご使用ください。

通気管にはポンプユニットから 500mm 以内にユニオンを設置して脱着ができるようにしてください。

（試運転調整やメンテナンス時などに必要となります。）

キャニスタ S の取り付け方法（オプション）

通気管接続口[c]のキャップを外し、取り付けてください。



ご注意！

ポンプユニットには吸排気が必要のため、吸気弁（ドルゴなど）の使用はできません。

8.試運転

通電されていることを確認し、バルブを全開にしてください。
ポンプユニットの点検口から注水（5L 以上）、または接続されている器具から排水し運転と停止を確認してください。配管接続部などからの水漏れがないことを確認してください。
吐出管の配管長・管径に応じて 1～5 分程度の連続排水による試運転を実施してください。

9.本体蓋の開け方・ポンプユニットの取り出し方

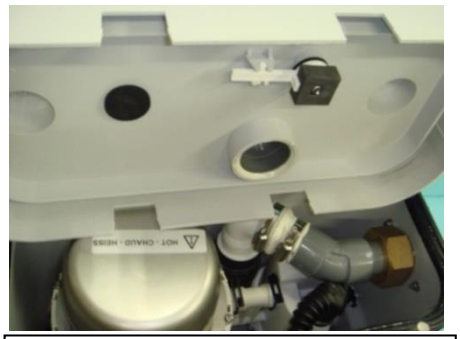
①蝶ナット４個を外してステンフランジを取りポンプの蓋を外します。

②ウオーターポンププライヤーで袋ナットを外して下さい

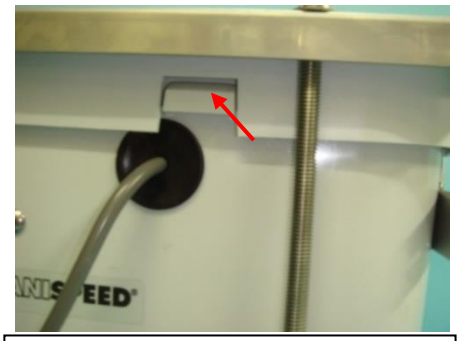
③電源コードのゴムカバーを外側から押し込んで外し、ポンプユニットを上に取り出して下さい

10.本体蓋の取り付け方

本体ケースにゴムパッキンを取り付けます。



蓋を本体ケースに取り付け、フランジ枠を取り付けて蝶ナットで締め込みます。



ゴムパッキンが見えなくなるまで締め込んで下さい。

有限会社スマートポンプジャパン　https://www.smartpump.jp/
東京都世田谷区北沢 3-2-16　TEL:03-5738-7440　FAX:03-5738-7441